はなしのたね
hanashi no tane

vol.3

「音象徴語」のはなし。

全っっ然、定着しない言葉ってありますよね。「映(ば)える」とか「バズる」とか、散々いろんなところで言われているはずなのに、未だに市民権を得たとは言い難い。ラーメン屋でオッサンが「このラーメンは映(ば)えるなぁ」とか言ってる姿を見たことがないですし、オカンが「これ今twitterでバズってるお菓子だよ」と言って何か買ってきてくれたこともありません。いや、そもそも若者言葉なんだから当たり前だろと思うかもしれませんが、インスタやtwitterに代表されるSNSはもはや世代を問わず浸透していますし、LINEなどのコミュニケーションツールも使ってない人のほうが少数派なぐらいです。そこでガンガン多用されているということは一過性の流行語とはそもそも土俵が違うはずなのに、一向に定着する気配がないのは、やはり言葉自体に何か欠陥を抱えているからだと思うのです。

「音象徴語(おんしょうちょうご)」というものをご存知でしょうか。音象徴とは、音そのものがある特定のイメージを喚起する事象を指します。「ザーザー」という音は日本人の99%が雨の音だというでしょう。中には「波の音をイメージしちゃうぜ」というスカしたサーファーや、「小豆を段ボールに入れて毎日振るのが趣味なんです」という精神的に危険な方もいるかもしれませんが。こうした擬音語や擬態語にもちゃんとしたルールがあります。濁音が使われているのは大きいもの、重いもの、鈍いもの、汚いものを表わします。対して清音は小さいもの、軽いもの、鋭いもの、美しいものを表わします。そして半濁音のものはその中間といった具合です。先ほどの雨の音なら、「ザーザー」は大雨でドシャ降り、「しとしと」なら小雨、「パラパラ」がその間。「ザーザー」降っていると聞くと気分が落ち込みます。他にも、「ボロボロ」と聞くとどうやっても古くて汚いものしかイメージできません。「バキバキ」は折れたり壊れている、「バラバラ」はまとまりが無い、など、日本人は無意識的にですが濁音に対してあまり良いイメージを抱かないという性質があります。

「ゲッツ！」「なんでだろ～」「ワイルドだろぉ？」「ダメよ～、ダメダメ」「ラッスンゴレライ」「35億」――― 一発屋芸人のギャグはどれもこれもみな濁音混じりです。しかも濁音部分にアクセントが置かれているパターン。中には一発屋じゃなくしぶとく稼いでいる方もいらっしゃいますが、ギャグ自体が世代を超えて愛されるものになっていないという意味では、世間に浸透しているとは言えません。「チッキショー！」や「なぁにぃ～？やっちまったなぁ！」など、清音だけの一発屋芸人もたくさんいますけどね。まあこれらは本人の実力に問題が･･･。ただ「聞いてないよ～！」と「ヤー！」しかなかったダチョウ倶楽部が未だに生き残っていることを考えると、濁音が混じらないギャグのほうが残り易いというのは、あながち間違いではないのかもしれません。

ということで話を戻すと、「映(ば)える」や「バズる」が浸透しない大きな要因は言葉の響きにあると言えます。どちらも濁音のパンチが強すぎて、その言葉にいいイメージを持てない、聞いた側があまりいい印象を抱かない、という側面が少なからずあると思うのです。「映(ば)える」も「バズる」も、動詞でありながら明確なアクションを指す言葉ではなく、あくまでイメージ、印象や状態を表わしている言葉ですから尚更です。それが「良い状態である」というイメージが涌かない言葉は、一発屋芸人のごとく消え行く運命なのかもしれません。

アタマの体操・脳トレ編

脳を活性化しアンチエイジングに最適です。
お役立て下さい。

問題 1 漢字の部首だけで元の四字熟語を当ててください

口	〈	木	西

問題 2 「？」に入る言葉は何？

？	？
女	男
心	気

〈ヒント〉問題① これはノーヒントで
問題② 「男」、「女」それぞれと組み合わせて別の漢字を

はなしのたね vol.2の答え

問題1 こ
（丸、止まる、困るの漢字が〈っついている）

問題2
ハンマー投げ

Special thanks to (N)